

## 放課後等デイサービス事業所での支援・活動のアイデア

### 日常生活ランクアップ！

#### ～「買い物」編～

ご家族の会話の中で、週末にショッピングモールで迷子になった…。  
家は子どもを連れて買い物は大変なので、学校に行っている間に済ませたい…。  
欲しいものや触りたい物ばかりがあって、お店には連れて行きづらい…。などなど  
いろいろなお話がご家族から聞かれます。

お子さん自身は買い物の楽しさは知っているはず！  
どのようにしたら欲しいものを購入することができるかな！  
自分でできた。ドキドキしたけどお母さんにほめられてうれしかった！  
またお買い物してみたい！  
お子さんたちの声を支援者として代弁し、どのようにステップを踏めばよいか考えてみましょう。

なかまの活動を通して、お子さん一人一人の発達に合わせて支援していく上で、個に合わせた活動を取り入れながら、小さいステップ踏みながら徐々に段階を上げてお子さんの自信に繋げて、実践に活かしたら！  
そしておうち時間を楽しい物にできたらと思い、支援を計画しています。



## 一人一人に合った“ねらい”を決める

### “ねらい”の設定

“ねらい”を決めることで、その子に対する支援の軸が決まり、課題の難易度や役割、楽しみなどから、求めるものが見えてきます。

“ねらい”の設定は、非常に重要な手続きなので、スタッフでよく話し合い、最適なものにしましょう。

### スタッフの話し合いからの一例～ねらい決め

職員 A：自立に必要なスキル、「買い物」に必要なものは金銭理解というふうに考えられがち・・・。

職員 B：お金の理解が育っていないから、買い物は難しいかな？

職員 C：生活の質の向上、楽しみには欠かせないですね。

職員 D：将来の生活を考えたら、ライフスキルとして捉えてみよう！

職員 E：目的をしぼり、商品選択、順番の理解、金銭授受、などに焦点をあてて課題の整理をしてみよう！

## 行動を分割して課題を整理してみよう

### 課題分析表を作成

**お子さんの好きなもの（身近な商品）をリストアップしましょう。**

**お子さんが欲しいものを事前に選んでもらえるような準備も大切です。**

**欲しいもの（買うもの）リストを用意して持参しておきましょう。**

店内に入ったら

①カゴをとります

②買うものリストを確認して品物のところにいきます

③品物を取りカゴにいれます

④レジカウンター前に並びます（最近は“あしがた”の目印が貼られていることが多くとてもわかりやすいですね）

⑤カゴをレジカウンター上に置きます。

⑥会計を待ちます。

⑦お財布からお金を出してトレーにおきます。

⑧レシートとおつりを受け取ります。

⑨品物を持ち帰ります。

## 課題分析表（例）の使い方

支援の前にご家族に普段の買い物の様子を記入してもらいましょう。  
何回か実施し評価を重ねることが大切です。

	日付			備考： こうすればうまくいくかも！
1. 買い物かごを取る				
2. 品物のところへ行く				
3. 品物を取る				
4. レジカウンターまで行く				
5. レジカウンターに並び				
6. 品物を台の上に置く				
7. 会計を待つ				
8. 値段を聞く				
9. お金を出し、店員に渡す (トレーに置く)				
10. レシート・釣銭を受け取る				
11. 品物を持ち帰る				

評価： ○ できる      △援助があればできる      ×できない

買い物の様子を直接見たり、ビデオに撮って見直したりして記録します。  
△や×が付いた項目は、どのような様子だったか備考欄に記入しておきます。  
△、×が付いた項目をどのように支援すれば、できるようになるのかを検討し  
次の買い物の支援に繋げていきます。



### 最近は…電子マネーがとっても便利！

感染症対策から、金銭を受け渡すことのリスクを避けて電子マネー利用の頻度が高くなりました。

具体的には、公共交通機関の利用もSuica、PASMOなどが普及しとても便利になっていますね。

**これは！チャンスです。**

お金についての苦手さがあり、社会経験が積みにくいと感じている支援者も少なくないのではないでしょうか。

こちらの環境設定の工夫一つで、生活にメリハリが付き楽しい余暇、自己実現、自己達成感につながるようになります。

また社会経験の積み重ねから働く意味を知り、そこにまた自己実現の向上が望まれます。